



2 学期のスタートにあたって

受験生の夏休み終わり、9月が始まります。1学期末の特編授業から始まり、夏期集中学習、全統共通マーク、夏期補習、全統記述と忙しく、「終わってみればあつという間だった」ことと思います。皆さんの学習計画は思ったように実行できましたか？

◆これからの学習は「受験実戦力の養成」

夏休みの目標は、受験基礎力の完成でした。これから9月～11月までの3ヶ月は記述対策に力を注ぎ、実戦力を養う時期です。国公立、私立の別なく、個別試験の科目を中心に学習を進めることとなります。来週からはじまる放課後補習なども活用して、学習のリズムを作りましょう。また、理社の学習もこの時期からは本格化させましょう。課題や補習教材、模試の解き直しと解説の熟読など、学び直しが有効です。思わぬヒントと出えるかもしれません。新しいものに手を出すより、繰り返すことが大切なのです。

◆学習と出願に忙しい9月

来る9月1日は防災の日です。受験に対しても健康に留意し、為すべき事を、為すべき時に、確実に準備していきましょう。9月は受験学力の養成の一方で、共通テスト試験の出願指導も始まる忙しい月です。目標とする共通テスト試験は、高校を通じて出願しなければ受験できません。一つ一つの手続きが公のものである以上、メ切り厳守でノーミスなのが当たり前であり、また志願者本人はみなさん自身ですから保護者任せはいけません。**これからのSHRやLHRでは、これまで以上に重要な連絡が続きます。**遅刻や無断欠席は厳禁です。



【信州大学説明会（校内）】のお知らせ

<日程> 8/30（金）16:20～17:20 文系学部（人文・経法・教育）

17:30～18:30 理系学部（工・理・医・繊維・農）

<会場> 4F 会議室

<講師> 三井利典先生（信学会長野予備校）

重要 「進路室からの諸連絡」

① 共通テスト試験の出願にあたって

進路室だより裏面の共通テストの出願に熟読してください。志願票（清書、検定料貼付済み）は締切厳守です。

② 推薦入試の希望受付について

推薦入試を検討している生徒は裏面の内容を確認し、担任の先生と相談の上、期日までに必要書類を提出するようにして下さい。

夏休みを後悔している？ かもしれないあなたへ

◆出来たことに目を向けよう

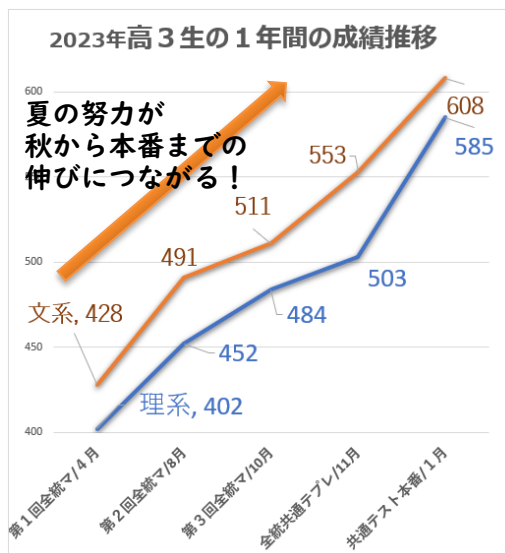
計画を立てる時って大抵の場合は希望とやる気に満ちているので、あれもこれも実現可能に思ってしまうものです。だから当初の計画が終わらなかったとしても、必要以上に落ち込む必要はありません。本気になればなるほど、やるべきことの多さと時間の流れの速さを実感するものです。けれど、あなたの取り組んだ学習は着実に実力へと昇華していきます。これからも努力を続けて、最善を尽くすこと。かならず道は拓けます！

◆やり残したことは、これから完成させる

また、自分の理想と夏休み後の現実（現在の実力）を比べてゲンナリしてしまうこともやむを得ません。じつは**努力が結果に表れる＝実力になるには時間がかかります**。「まだまだ勝負はこれから」という気持ちを持ちましょう。まずは冷静に自分を見つめて、計画通り行かなかった部分、つまり、まだ終了していない部分を出来るだけ早く終わらせることから始めましょう。今後は同じ轍を踏まぬよう自分を戒めること。それも大事な勉強です！

◆現役生は伸びしろが大きい!?

右のグラフは河合塾の全統模試を受けた高校3年生の成績データをまとめたものです。平均をみても、入試直前で大幅に伸びていることは明らかです。受験勉強に入る時期が班活動で遅くなってしまう生徒が多く、学習の弱点を受験直前まで埋めていくため、伸びしろが大きいと言われています。大学入試はスタート地点だということを忘れることなく、**行ける大学ではなく、行きたい大学にこだわって最後まで挑戦していこう！**



◆誰にでも「あせり」や「不安」はある、前向きな気持ちを忘れずに

これからは、焦りも出始める頃でしょう。誰にとってもプレッシャーが強まっていく、これからが本当の受験勉強です。なかなか実力が伸びない、覚えられない、時間が無い、もうだめ… など、悪循環にはまっている人はいないでしょうか。

絶対にやってはいけないことは、『過去を振り返って後悔ばかりすること』『周囲の人と自分を比べてうらやむこと』です。過ぎた時間は取り戻すことはできないし、考えても仕方のないことです。最終の合格発表の日まで、この受験勉強に終わりはない。どこまで到達しても不安は残るし、どんな人でも「やり残しがある…」という状態で本番を迎えるのです。後向きの思考はやめて、前向きに進みましょう。しかし、準備できる期間は決まっています。いたずらに落ち込んで学習のペースを乱すより、**プラス思考で努力を積み上げていきましょう！君たちの周りには、いつも切磋琢磨し合う仲間がいることも忘れずに。**

[重要] 共通テスト試験の出願について

「令和7年度大学入学共通テスト受験案内」が間もなく到着します。すでに受験科目登録などをイメージしていることと思いますが、いよいよ今週から本格的に共通テストに向けた出願指導が始まります。

◆現役生は学校経由の一括出願、黄色封筒は使用しません！

現役生の共通テスト出願は、すべて“学校単位”と決められています（もちろん私大・国公立2次試験などの各大学への出願は個別です）。そのため、出願期間は9月25日（水）～10月7日（月）ですが、事前に校内で確認・集約してから一括発送をします。9月5日（木）の校内配布以降は、全てにおいて〆切りを厳守してください。保護者の方には、生徒と一緒に「受験案内」の読み合わせをお願いします。下記に校内日程を示しますので、あわせて確認してください。

(1) いますぐ：「受験上の配慮」「イヤホン不適合申請」の希望は、HR担任まで相談。

(2) 9月5日（木）「受験案内」校内配布・説明・下書き記入開始

・受験案内に従って、下書き用紙「志願票（コピー）」に記入する。

・受験予定の教科すべてを登録する。地歴公民・理科などの安易な科目減らしは厳禁。

・志望校の受験科目を確認し、とくに理科の受験パターンには注意すること。

→かならず受験科目調べを行って、プリント「入試科目調べ」にまとめること。

(3) 9月13日（金）までに「志願票（下書き）」「入試科目調べ」を担任へ提出

(4) 9月20日（金）までに「志願票（清書・検定料貼付済み）」を担任へ提出

・下書きを担任が確認した後、返却するので、丁寧かつ正確に清書すること。

・志願者本人が黒のボールペンで記入すること。

・修正液や修正テープによる修正は不可、訂正は二重線で行う。

・検定料を払い込む（「成績通知を希望する3教科以上受験者」は18,800円）。

必ず志願者（生徒）名で、金融機関窓口（ATMは不可）にて払い込むこと。

このとき日附印に押印がされていることを確認すること。

右端の検定料受付証明書を志願票にしっかりと貼付する。

・提出前に、各自でコピーをとり保管すること。

(5) 10月7日までの吉日に「志願票」を学校で一括発送

(6) 10月25日（金）までに「確認ハガキ」が返送

(7) 登録内容の確認・訂正（希望者のみ：学校単位11/1消印有効）

(8) 12月16日（月）までに「受験票・写真票」が返送

・返送される用紙は、今後の共通テスト利用入試のすべてに必要な成績請求票が付いています。すべての受験を終えるまで大切に保管すること。「受験票」「写真票」には本人確認用の写真が必要です。今後の出願のためにも、各自で用意してください。

(9) 4月1日（火）以降「成績通知書」が送付（出願時に希望した者のみ）



調査書の発行について

個別の上級学校への出願時には、大抵の場合、調査書が必要となります。本校では生徒自身が発行台帳へ記入し学級担任へ提出することにより、申請・発行手続きを行っています。10月1日以降、発行準備が整う予定ですので下記にしたがって請求して下さい。これ以前に必要な生徒は、早めに担任の先生に申し出てください

☆ 調査書や推薦書が必要な生徒は、遅くとも2週間前には担任の先生に依頼すること。

①学級担任から「調査書発行台帳」（用紙）を受け取る。

②必要事項を黒ボールペンで記入し、担任に提出する。

・コード番号は河合塾模試コード表（8/24 実施・記述模試5桁）を使用する。

③台帳の発行番号は組・名簿番号・発行順の5桁

例）6組3番の生徒が1通目にもらう調査書 → 「60301」

④入試区分を記入すること（推薦、総合型、国公立（前期・後期）、私大共通テスト利用、私大一般など）

推薦入試の希望受付について

推薦入試に関わる校内日程をお知らせします。三者懇談をはじめとしたこれまでの話し合いや進路希望を踏まえ、推薦を希望する生徒は申し出て下さい、**事前に推薦入試規程とその主旨を理解し、また推薦入試のメリットとデメリットとを十分に考慮してください。**

1. 指定校推薦（推薦入試で本校を指定する上級学校）の公開

・9月2（月）～5日（木）担任および進路室でのみ閲覧可能。

2. 推薦願いの配布と提出（国公立大・私立大の公募制、私立大指定校制とも共通）

・公募制および指定校制の推薦入試を希望する者は、9月5日（木）までに学級担任に申し出て、必要書類（「推薦願」および「確約書」）を受けとること。

・「推薦願」と「確約書」に必要事項を記入し9月6日（金）までに学級担任へ提出すること。あわせて「募集要項（指定校を除く）」を担任に提示すること。

・以後は、充足していない公募制推薦のみを受け付ける。希望者は出願開始日の2週間前までに学級担任へ「募集要項」を提示し、「推薦願」と「確約書」を提出すること。

・共通テスト利用の推薦でも、年内に出願し事前の面接や小論文などの試験が課される場合がある。希望者は、通常の公募制推薦と同様に必要書類を提示し、提出すること。なお、共通テスト後の出願では共通テストの結果によって利用の有無を判断してよい。

3. その他

・校内選考会議の結果は順次、担任から本人へ口頭連絡する。

・今回の希望受付開始は、信州大学や長野県立大学など一般公募制を含めた国公立大および私立大の推薦入試すべてを対象とする。そのため、高校あたりの推薦人数に指定のある上級学校が充足した場合には、今後の学校推薦はできないので注意すること。